

GSワールド・シフト株式ファンド

愛称：shiftWIN

Aコース（限定為替ヘッジ）

Bコース（為替ヘッジなし）

追加型投信／内外／株式

交付運用報告書

第6期（決算日2026年3月23日）

作成対象期間：2025年9月23日～2026年3月23日

Aコース	第6期末（2026年3月23日）		第6期	
	基準価額	14,327円	騰落率	8.6%
	純資産総額	5,391百万円	分配金合計	0円
Bコース	第6期末（2026年3月23日）		第6期	
	基準価額	18,404円	騰落率	18.6%
	純資産総額	170,684百万円	分配金合計	0円

（注）騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「GSワールド・シフト株式ファンド Aコース（限定為替ヘッジ）／Bコース（為替ヘッジなし）」は、このたび、第6期の決算を行いました。本ファンドは、日本を含む世界の株式を実質的な主要投資対象とし、国際社会の変容^{（注）}に関連する主要なテーマから恩恵を受けると考えられる先進国を中心とした企業の株式に投資することにより、信託財産の長期的な成長をめざして運用を行っております。今期の運用経過等について、以下のとおりご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますようお願い申し上げます。

（注）国際社会の変容から生じる先進国の経済安全保障への影響を含みます。

本ファンドは、約款において運用報告書（全体版）を電子交付する旨が定められております。運用報告書（全体版）は、下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

〈閲覧方法〉

下記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「ファンド一覧」より本ファンドを選択⇒「運用報告書（全体版）」を選択

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

〒105-5543

東京都港区虎ノ門2-6-1 虎ノ門ヒルズステーションタワー

お問合せ先：03-4587-6000（代表）

受付時間：営業日の午前9時～午後5時

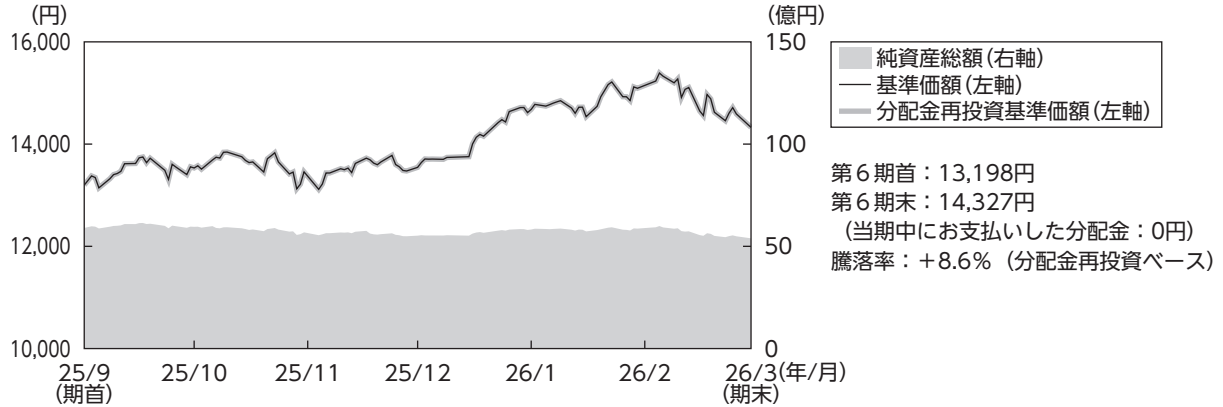
www.gsam.co.jp

運用経過

■ 基準価額等の推移について（2025年9月23日～2026年3月23日）

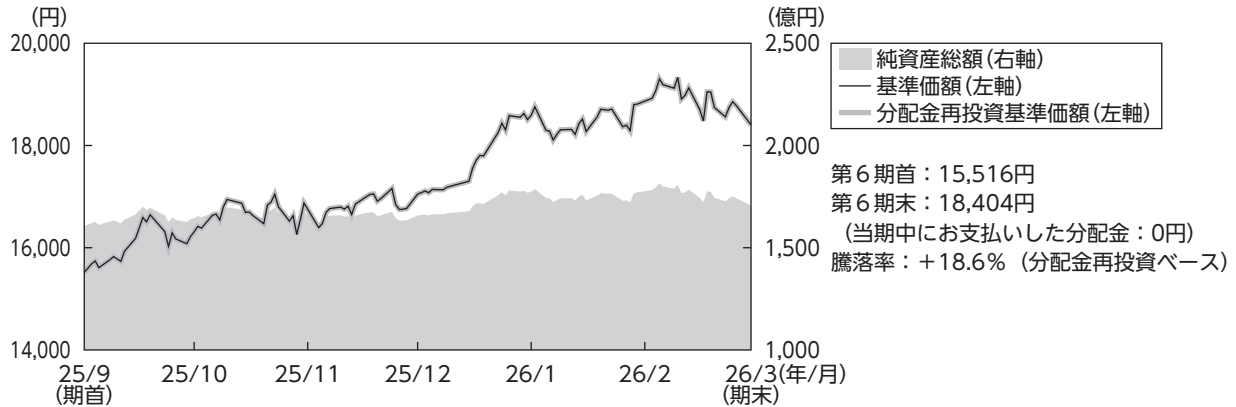
○GSワールド・シフト株式ファンドAコース（限定為替ヘッジ）

（以下、「Aコース（限定為替ヘッジ）」といいます。）



○GSワールド・シフト株式ファンドBコース（為替ヘッジなし）

（以下、「Bコース（為替ヘッジなし）」といいます。）



（注1）Aコース（限定為替ヘッジ）およびBコース（為替ヘッジなし）の値動きと比較する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

（注2）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注3）実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

（注4）分配金再投資基準価額は、期首の基準価額を起点として指数化しています。

（注5）騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

■ 基準価額の主な変動要因

- Aコース（限定為替ヘッジ）の基準価額は、期首の13,198円から1,129円上昇し、期末には14,327円となりました。
- Bコース（為替ヘッジなし）の基準価額は、期首の15,516円から2,888円上昇し、期末には18,404円となりました。
(以下、2ファンドを総称して「本ファンド」ということがあります。)

上昇要因

投資銘柄のうち、マイクロン・テクノロジー、ラムリサーチ、K L Aなどの株価が保有期間中に上昇したことが、基準価額の主な上昇要因となりました。

下落要因

投資銘柄のうち、ゼットスケラー、ケイデンス・デザイン・システムズ、ユナイテッド・レンタルズなどの株価が保有期間中に下落したことが、基準価額の主な下落要因となりました。

■ 1万口当たりの費用明細

○Aコース（限定為替ヘッジ）

項目	当期		項目の概要
	2025年9月23日～2026年3月23日		
	金額	比率	
信託報酬 (投信会社)	126円 (62)	0.891% (0.439)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価 ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(販売会社)	(62)	(0.439)	
(受託会社)	(2)	(0.014)	
その他費用 (監査費用)	0 (0)	0.003 (0.002)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 目論見書・運用報告書等の作成・印刷に係る費用、信託事務処理等に要するその他の諸費用
(その他)	(0)	(0.002)	
合計	126	0.894	

期中の平均基準価額は14,099円です。

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む。）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。但し、各項目の費用は、本ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

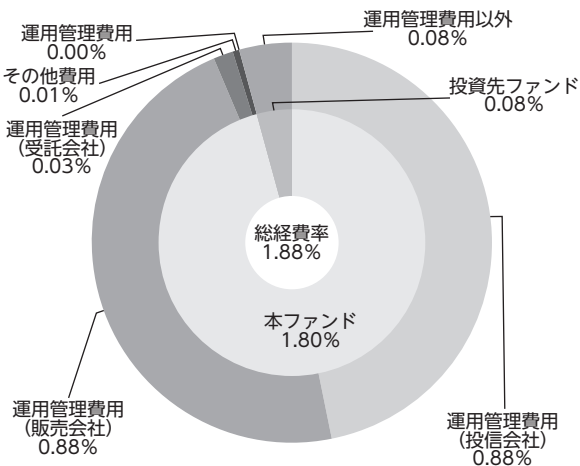
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.88%です。



総経費率 (①+②+③)	1.88%
①本ファンドの費用の比率	1.80%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.00%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.08%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、本ファンドが実質的に組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■ 1万口当たりの費用明細

○Bコース（為替ヘッジなし）

項目	当期		項目の概要
	2025年9月23日～2026年3月23日		
	金額	比率	
信託報酬 (投信会社)	155円 (76)	0.891% (0.439)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価 ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(販売会社)	(76)	(0.439)	
(受託会社)	(2)	(0.014)	
その他費用 (監査費用)	0 (0)	0.002 (0.001)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 目論見書・運用報告書等の作成・印刷に係る費用、信託事務処理等に要するその他の諸費用
(その他)	(0)	(0.001)	
合計	155	0.893	

期中の平均基準価額は17,369円です。

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む。）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。但し、各項目の費用は、本ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

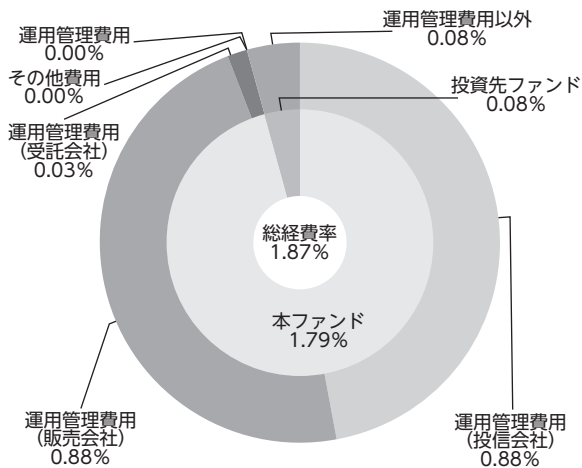
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.87%です。



総経費率 (①+②+③)	1.87%
①本ファンドの費用の比率	1.79%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.00%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.08%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、本ファンドが実質的に組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

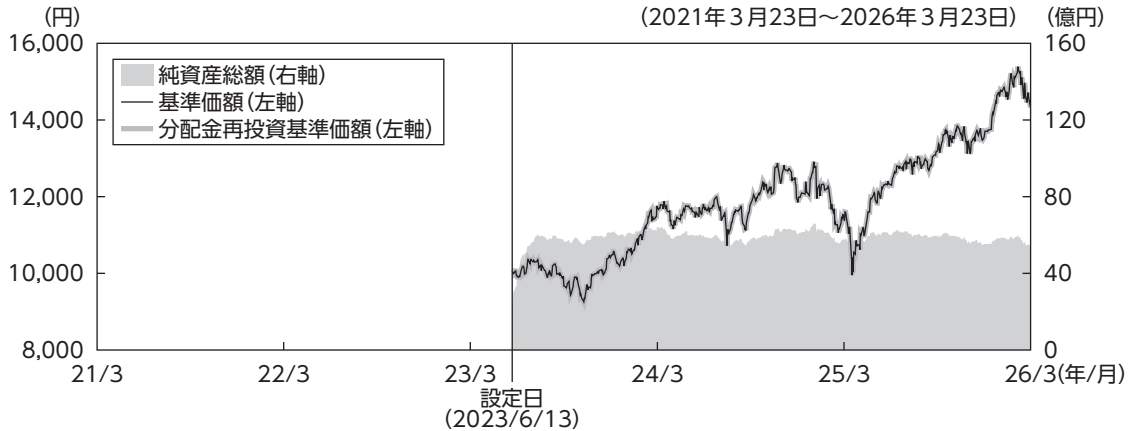
(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

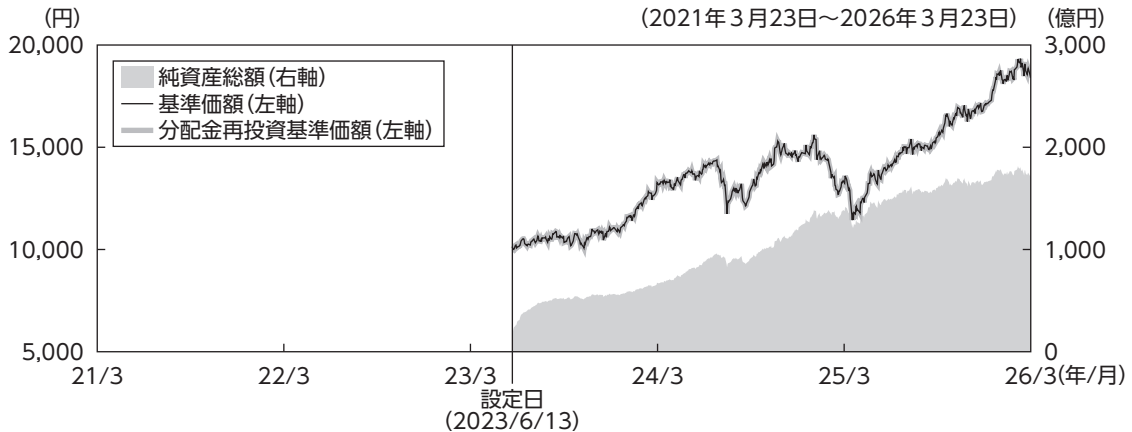
(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移について

○Aコース (限定為替ヘッジ)



○Bコース (為替ヘッジなし)



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

(注3) 分配金再投資基準価額は、設定日(2023年6月13日)の基準価額を起点として指数化しています。

(注4) 本ファンドの値動きと比較する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

■ 最近5年間の年間騰落率

○Aコース（限定為替ヘッジ）

	2023/6/13 設定日	2024/3/21 決算日	2025/3/21 決算日	2026/3/23 決算日
基準価額（分配落）（円）	10,000	11,479	11,538	14,327
期間分配金合計（税引前）（円）	－	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	－	14.8%	0.5%	24.2%
純資産総額（百万円）	2,410	6,180	5,777	5,391

○Bコース（為替ヘッジなし）

	2023/6/13 設定日	2024/3/21 決算日	2025/3/21 決算日	2026/3/23 決算日
基準価額（分配落）（円）	10,000	12,894	13,364	18,404
期間分配金合計（税引前）（円）	－	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	－	28.9%	3.6%	37.7%
純資産総額（百万円）	18,967	65,573	138,582	170,684

（注1）設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産価額は設定当初の元本額を表示しています。騰落率は1年前の決算応当日との比較で、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。ただし、2024年3月21日の騰落率は設定当初との比較です。

（注2）純資産総額の単位未満は切捨てで表示しています。

（注3）本ファンドの値動きと比較する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

■ 投資環境について

<世界株式市場>

当期の世界株式市場は上昇しました。

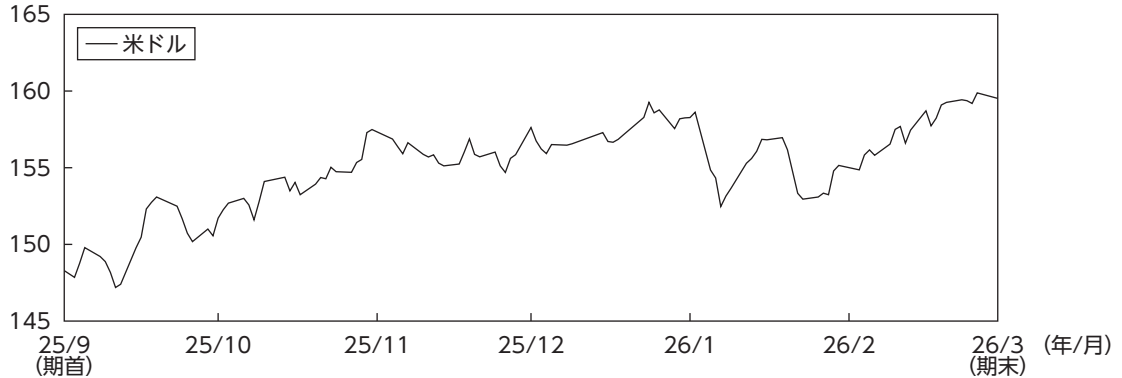
期の前半は、米政府機関の一部閉鎖や米中貿易摩擦懸念などを背景に景気の先行き不透明感が重しとなり、世界株式市場は下落する局面がみられました。また、米国を中心に生成A I（人工知能）関連銘柄などに対しバリュエーションの割高感が意識され、ハイテク関連銘柄株価の重しとなりました。一方アジアでは、A I 半導体需要への期待感から韓国や台湾の株式市場が急伸し、世界株式市場を下支えしました。期の後半は、2026年初から米国によるベネズエラの首都攻撃や大統領拘束など地政学リスクが高まった一方で、欧米株式市場は上値を試す展開となりました。しかし2月以降は、A I の進化によって企業の既存業務が代替される懸念が嫌気され、米ハイテク関連銘柄を中心にソフトウェア銘柄が幅広く下落する局面がみられました。また3月以降は中東情勢悪化による原油価格の急伸を背景に、紛争の長期化リスクに伴うスタグフレーション懸念が市場で意識され、世界株式市場は大幅下落となりましたが、結局、世界株式市場は前期末対比で上昇して期末を迎えました。

<外国為替市場>

当期の外国為替市場では、米ドルは円に対して上昇しました。

○為替レート（対円）の推移

（円／ドル）



出所：三菱UFJ銀行対顧客電信売買相場仲値（TTMレート）

<短期金融市場>

当期において、米国T-Bill 1 ヶ月は前期末の4.0%から3.6%まで低下して期末を迎えました。

■ ポートフォリオについて

<本ファンド>

本ファンドは、ゴールドマン・サックス・グローバル・フューチャー・エコノミック・セキュリティ・エクイティ・ポートフォリオおよびゴールドマン・サックス US \$トレジャリー・リキッド・リザーブズ・ファンドを主要投資対象とし、期を通じてゴールドマン・サックス・グローバル・フューチャー・エコノミック・セキュリティ・エクイティ・ポートフォリオを概ね高位に組入れることで、日本を含む世界の株式を実質的な主要投資対象とし、国際社会の変容に関連する主要なテーマから恩恵を受けると考えられる先進国を中心とした企業の株式に投資することにより、信託財産の長期的な成長をめざして運用を行いました。

<ゴールドマン・サックス・グローバル・フューチャー・エコノミック・セキュリティ・エクイティ・ポートフォリオ>

当ポートフォリオでは、国際社会の変容と先進国市場における安全保障への影響から恩恵を受けると期待される、資源の安定確保やサプライチェーンの再構築、国家セキュリティの強化といった投資機会を生み出し、成長を促すテーマとの整合性を取るとともに、ボトムアップによる調査に基づき、ファンダメンタルズとバリュエーションの観点から投資妙味が期待される銘柄への投資を行います。当期間中、個別銘柄では、アプライド・マテリアルズ、WWグレンジャー、リンデなどを新規で組み入れ、ファスナル、フィフス・サード・バンコープ、エアプロダクツ・アンド・ケミカルズなどの全売却を実施しました。

<ゴールドマン・サックス US \$トレジャリー・リキッド・リザーブズ・ファンド>

主として米ドル建ての短期金融商品に分散投資することにより、元本と流動性を確保しつつ、米ドルベースでの最大限の収益を得ることを目標として運用を行いました。

■ベンチマークとの差異について

本ファンドの値動きと比較する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

■分配金について

収益分配金（1万口当たり、税引前）については、分配方針および基準価額の水準などを勘案し、Aコース（限定為替ヘッジ）およびBコース（為替ヘッジなし）は、第6期の分配は行わないこととしました。収益分配金に充てなかった収益については、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

<分配原資の内訳>

○Aコース（限定為替ヘッジ）

（単位：円・％、1万口当たり・税引前）

項 目	第 6 期
	2025年9月23日～2026年3月23日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	4,327

○Bコース（為替ヘッジなし）

（単位：円・％、1万口当たり・税引前）

項 目	第 6 期
	2025年9月23日～2026年3月23日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	8,404

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針について

<本ファンド>

今後も引き続き、ゴールドマン・サックス・グローバル・フューチャー・エコノミック・セキュリティ・エクイティ・ポートフォリオおよびゴールドマン・サックス US \$トレジャリー・リキッド・リザーブズ・ファンドを主要投資対象とし、期を通じてゴールドマン・サックス・グローバル・フューチャー・エコノミック・セキュリティ・エクイティ・ポートフォリオを高位に組入れることで、日本を含む世界の株式を実質的な主要投資対象とし、国際社会の変容に関連する主要なテーマから恩恵を受けると考えられる先進国を中心とした企業の株式に投資することにより、信託財産の長期的な成長をめざします。

<ゴールドマン・サックス・グローバル・フューチャー・エコノミック・セキュリティ・エクイティ・ポートフォリオ>

過去数十年続いてきたグローバリゼーションは人々の生活を豊かにした一方、さまざまな摩擦や衝突を生み出し、昨今の国際紛争はそのリスクを明らかにするものになったとみられます。その一例として、環境・資源問題においては、大量生産・消費型の経済モデルは資源の大量消費を助長し、偏在性の高い重要資源の調達リスクを高め、資源や先端技術を巡る競争の激化によってパワーバランスの多極化と各地域間の関係性に複雑性がもたらされ、重要資源の安定確保に対する要請が高まっています。サプライチェーンにおいては、グローバリゼーションの進展により、企業は国際的なサプライチェーンの構築により生産効率化を追求してきましたが、一方で、生産拠点の一極集中や産業の空洞化といった課題を招き、ロシアによるウクライナ侵攻やイラン・イスラエル問題などが、サプライチェーンの潜在的なリスクを顕在化させました。そして、国家の安全保障面では、国際社会におけるパワーバランスの変化や各国間の経済的依存関係の複雑化やリスクへの意識などを背景に、デジタルも含めて、国家セキュリティに対する重要性が一段と意識されています。近年明らかになってきたこうした脆弱性に直面して、世界は変容の時を迎えており、それに伴って新たな投資機会が生みだされていると考えます。

ポートフォリオ構築の観点からは、バランスシートが良好で、強固なビジネス・モデルを持ち、質の高い資産を保有し、優秀な経営陣を擁する企業に焦点を当てて投資を行います。なお、当社の投資哲学は市場の短期的な変動によって変わることはなく、引き続き、投資テーマとの整合性をとりながら、ボトムアップによる調査に基づき、ファンダメンタルズとバリュエーションの観点から投資妙味が期待される銘柄への投資を行います。

<ゴールドマン・サックス US \$トレジャリー・リキッド・リザーブズ・ファンド>

今後も主として米ドル建ての短期金融市場証券に分散投資することにより、元本と流動性を確保しつつ、米ドルベースでの最大限の収益を得ることを目標として運用を行います。

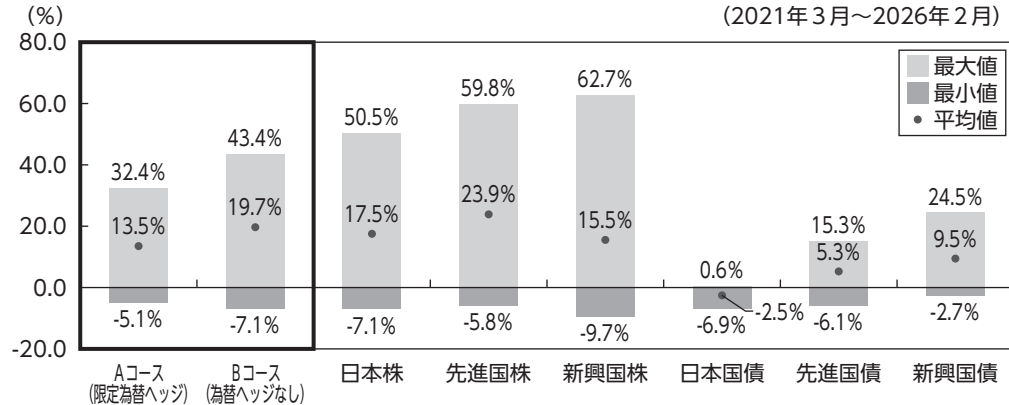
(上記見通しは2026年3月23日現在のものであり、今後見通しは変更されることもあります。)

本ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	原則として無期限
運用方針	主として、国際社会の変容とその先進国市場の経済安全保障への影響に関連する主要なテーマから恩恵を受けると考えられる先進国を中心とした日本を含む世界の企業の株式を主要投資対象とする投資信託証券に投資し、信託財産の長期的な成長をめざして運用を行います。
主要投資対象	
本ファンド	以下の指定投資信託証券を主要投資対象とします。 <ul style="list-style-type: none"> ・ルクセンブルグ籍外国投資証券 ゴールドマン・サックス・ファンズ S. I. C. A. V. ①ゴールドマン・サックス・グローバル・フューチャー・エコノミック・セキュリティ・エクイティ・ポートフォリオ ・アイルランド籍外国投資証券 ゴールドマン・サックス・ファンズ・ピーエルシー ②ゴールドマン・サックス US \$トレジャリー・リキッド・リザーブズ・ファンド
指定投資信託証券①	先進国を中心とした日本を含む世界の企業の株式
指定投資信託証券②	主に米ドル建ての短期金融商品、決済機関への預金およびリバース・レポ取引などの金融市場証券
運用方法・組入制限	①投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。 ②<Aコース（限定為替ヘッジ）> 米ドル建ての組入れ投資信託証券については、当該投資信託証券が保有する日本円建ての資産相当部分を除いて、原則として米ドル売り円買いの為替予約取引を行い、為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。 <Bコース（為替ヘッジなし）> 外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジは行いません。 ③株式への直接投資は行いません。
分配方針	原則として毎計算期末（毎年3月20日および9月20日。休業日の場合は翌営業日。）に収益の分配を行います。投信会社が経費控除後の利子・配当等収益および売買損益（評価損益を含みます。）等の中から基準価額水準、市場動向等を勘案して分配金を決定します。

(参考情報)

■ 本ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



○上記は、2021年3月から2026年2月の5年間における1年騰落率の平均値・最大値・最小値を、本ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。ただし、1年騰落率は各月末の直近1年間の騰落率であるため、本ファンドの騰落率においては設定日（2023年6月13日）から1年後の2024年6月以降のデータを表示しており、過去5年間のデータではありません。

○各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

□東証株価指数（TOPIX）の指数値および東証株価指数（TOPIX）に係る標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社の知的財産です。□MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCIに帰属します。MSCIおよびMSCIの情報の編集、計算、および作成に関与するその他すべての者（以下総称して「MSCI当事者」といいます）は、MSCIの情報について一切の保証（独創性、正確性、完全性、商品性および特定目的への適合性を含みますが、これらに限定されません）を明示的に排除します。MSCI、その関連会社およびMSCI当事者は、いかなる場合においても、直接損害、間接損害、特別損害、付随的損害、懲罰損害、派生的損害（逸失利益を含みます）およびその他一切の損害についても責任を負いません。MSCIの書面による明示的な同意がない限り、MSCIの情報を配布または流布してはならないものとします。□NOMURA-BPI 国債の知的財産権は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。□FTSE 世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。□JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバルに関する著作権は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。

- ・海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。
- ・全ての資産クラスが本ファンドの投資対象とは限りません。
- ・本ファンドの騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。
- ・騰落率は当期末の直近月末から60ヵ月遡った算出結果であり、本ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

本ファンドのデータ

■ 本ファンドの組入資産の内容 (2026年3月23日現在)

< Aコース (限定為替ヘッジ) >

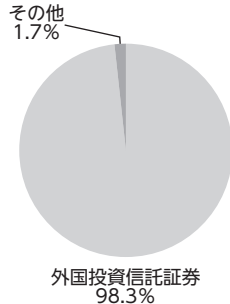
○ 組入上位ファンド

(組入銘柄数：2銘柄)

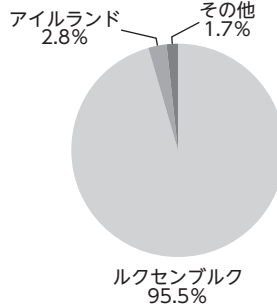
ファンド名	比率
ゴールドマン・サックス・グローバル・フューチャー・エコノミック・セキュリティ・エクイティ・ポートフォリオ	95.5%
ゴールドマン・サックス US\$トレジャリー・リキッド・リザーブズ・ファンド	2.8%

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

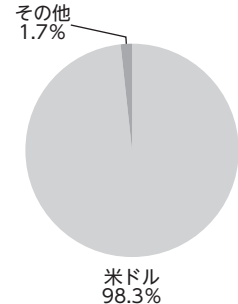
○ 資産別配分



○ 国別配分



○ 通貨別配分



(注1) 上記の比率は全てAコース (限定為替ヘッジ) の純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注2) 国別配分は、発行国もしくは投資国を表示しています。国・地域別による配分です。

(注3) 通貨別配分は、資産別配分における発行通貨にて表示しています。

< Bコース (為替ヘッジなし) >

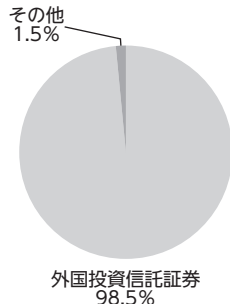
○ 組入上位ファンド

(組入銘柄数：2銘柄)

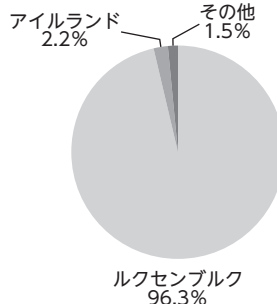
ファンド名	比率
ゴールドマン・サックス・グローバル・フューチャー・エコノミック・セキュリティ・エクイティ・ポートフォリオ	96.3%
ゴールドマン・サックス US\$トレジャリー・リキッド・リザーブズ・ファンド	2.2%

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

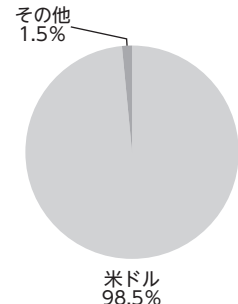
○ 資産別配分



○ 国別配分



○ 通貨別配分



(注1) 上記の比率は全てBコース (為替ヘッジなし) の純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注2) 国別配分は、発行国もしくは投資国を表示しています。国・地域別による配分です。

(注3) 通貨別配分は、資産別配分における発行通貨にて表示しています。

■ 純資産等

○Aコース (限定為替ヘッジ)

項目	第6期末
	2026年3月23日
純資産総額	5,391,772,654円
受益権総口数	3,763,233,954口
1万口当たり基準価額	14,327円

(注) 期首元本額は4,470,028,125円、当作成期間中において、追加設定元本額は66,046,717円、同解約元本額は772,840,888円です。

○Bコース (為替ヘッジなし)

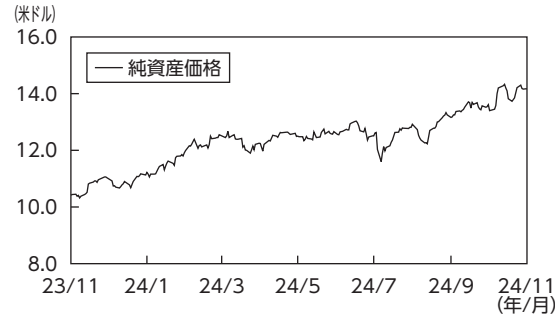
項目	第6期末
	2026年3月23日
純資産総額	170,684,598,264円
受益権総口数	92,740,837,695口
1万口当たり基準価額	18,404円

(注) 期首元本額は103,451,553,427円、当作成期間中において、追加設定元本額は4,816,584,007円、同解約元本額は15,527,299,739円です。

■ 組入上位ファンドの概要

<ゴールドマン・サックス・グローバル・フューチャー・エコノミック・セキュリティ・エグイティ・ポートフォリオ> (2024年11月30日現在)

○純資産価格の推移について (2023年12月1日~2024年11月30日)



* I Oアキュムレーション・クラスの純資産価格

○費用明細 (2024年11月30日に終了した期間) (単位: 米ドル)

費用	
投資顧問報酬	174,955
保管費用	95,923
管理事務代行報酬	162,993
販売報酬およびサービシング報酬	1,010
年次税	66,767
専門家報酬	29,758
その他運用費用	89,397
	<hr/>
	620,803
投資顧問報酬調整額	(65)
費用合計	<hr/>
	620,738

(注) 費用明細は1万口当たりの情報の入手が困難であるため、当外国投資信託証券の全てのクラスにかかった金額を表示しております。

○組入上位10銘柄

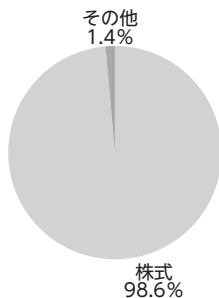
順位	銘柄	国・地域	比率
1	Honeywell International, Inc.	米国	3.0%
2	Martin Marietta Materials, Inc.	米国	2.9%
3	KLA Corp.	米国	2.8%
4	GE Vernova, Inc.	米国	2.8%
5	Marvell Technology, Inc.	米国	2.8%
6	DT Midstream, Inc.	米国	2.6%

(組入銘柄数: 54銘柄)

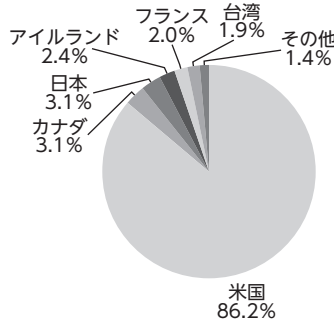
順位	銘柄	国・地域	比率
7	Moog, Inc. Class A	米国	2.6%
8	Permian Resources Corp.	米国	2.6%
9	Curtiss-Wright Corp.	米国	2.5%
10	Sempra	米国	2.5%

(注) 組入比率は当外国投資信託証券の全てのクラスを合算した純資産額に対する割合です。

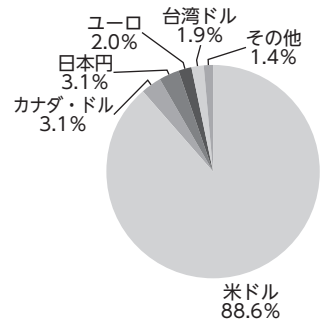
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 配分は当外国投資信託証券の全てのクラスを合算した純資産額に対する比率です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

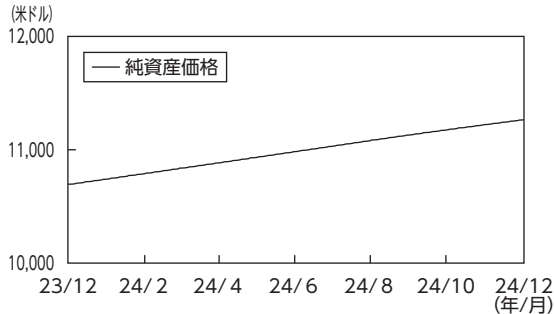
(注2) 国別配分は、国・地域別による配分です。

(注3) キャッシュ部分については、「その他」に含めています。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書 (全体版) でご覧いただけます。

<ゴールドマン・サックス US \$トレジャリー・リキッド・リザーブズ・ファンド> (2024年12月31日現在)

○純資産価格の推移について (2024年1月1日~2024年12月31日)



* X アクкумуляション・クラスの純資産価格

○組入上位10銘柄

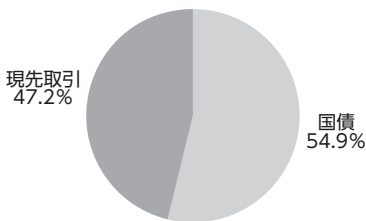
順位	銘柄	種別	比率
1	State Street Bank And Trust Co Repo	現先取引	8.1%
2	United States Treasury Floating Rate Note	国債	5.4%
3	RBC Dominion Securities Inc Repo	現先取引	5.1%
4	United States Treasury Floating Rate Note	国債	4.5%
5	United States Treasury Bill	国債	4.3%
6	United States Treasury Bill	国債	4.2%

(組入銘柄数: 133銘柄)

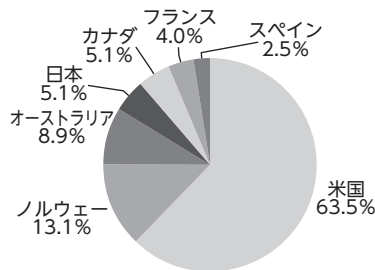
順位	銘柄	種別	比率
7	United States Treasury Floating Rate Note	国債	3.9%
8	United States Treasury Bill	国債	3.4%
9	Credit Agricole CIB Repo	現先取引	3.4%
10	Nomura Securities Repo	現先取引	3.0%

(注) 組入比率は当外国投資信託証券の全てのクラスを合算した純資産額に対する割合です。

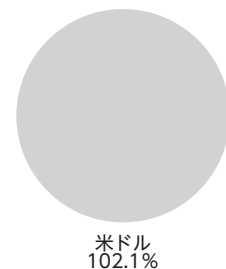
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 配分は当外国投資信託証券の全てのクラスを合算した純資産額に対する比率です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注2) 国別配分は、国・地域別による配分です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書 (全体版) でご覧いただけます。